

施工管理技士eラーニングで講義

各種資格取得を支援する国家資格対策センター(東京都新宿区、福崎昭一理事長)は、1級・2級施工管理技士検定試験を対象に、eラーニングを活用した最新試験対策合格講座を開設した。



少子高齢化や堅調な建設需要などに

国家資格対策センター理事長 福崎 昭一氏

より、建設技術者の不足が深刻化する中で、建設現場の最前線を担う施工管理技士の資格試験の合格率は2割にも満たない状況が続いている。低迷する原因について「試験の難易度よりも、むしろ仕事で勉強時間を十分に取れないことが、低合格率を招いている」と福崎理事長は言い切る。独学や講習会形式の受験対策を根本から見直し、場所と時間を選ばない講習方法を確立している。

建築施工管理技士検定試験の平均実合格率は、1級で17%、2級で16%と低迷している。これは「試験に対する絶対的な学習不足が原因で、場所と時間が決められている講習会では限界がある」と福崎理事長は指摘する。

受講者が勉強したい時に、したいだけ学習できる方法は「インターネットを使って講義を動画で配信するのがベスト」と考え、同センターが実施している運行管理者試験などで実績のある

eラーニングによる講義を建設分野にも導入した。

収録されている講義は、1級建築で学科16時間、実地8時間、2級建築で学科10時間、実地4時間をそれぞれ確保。講師には東京工業大学建築学科文部技官で1級建築士の三村大介氏を招き、講習会講師などの多様な実務経験を生かした分かりやすい講義を心掛けている。

自宅や会社、通勤途中でもパソコンやスマートフォンから簡単にアクセスでき、自分の見たい単元を繰り返し再生できるのが特徴。特に、都市部から離れた現場で働く会社員や離島やへき地などこれまで講習会に通えなかった人には朗報だ。過去問題を1日3問まで、試験日まで毎日スマートフォンなどに配信するサービスや、記述試験の添削(希望者のみ)などバックアップ体制にも万全を期している。

価格は1級建築学科コースが5万5000円、実地コースが4万円で両コースのセットが8万5000円など。問い合わせは同センター(電話03・5302・8189)へ。

いつでも、どこでも受験勉強を